

令和4年 第3回 北海道議会定例会 一般質問 開催状況

開催年月日 令和4年9月28日(水)
 質問者 日本共産党 宮川 潤 議員
 答弁者 知事

| 質 問 要 旨 | 答 弁 要 旨 |
|--|---|
| <p>六 日口間のビザなし交流等について</p> <p>ロシア政府は、「ビザなし交流」と「自由訪問」について日本側との協定を一方的に破棄する政令を発表しました。元島民をはじめとする領土返還の願いを踏みにじる行為であり、到底容認できません。</p> <p>知事は、在札幌ロシア連邦総領事宛てに抗議文を發しています。</p> <p>元島民らの「北方墓参」は破棄の対象には含まれないとしていますが、ロシアの更なる圧力の中で、止められる危険性は排除できません。</p> <p>墓参は新型コロナウイルス感染症の影響で2020年から中断を余儀なくされています。</p> <p>一刻も早い墓参を含む四島交流等事業の再開を日ロ両政府に求めるべきと考えますが、どう対応するのか、伺います。</p> | <p>(知事)</p> <p>四島交流等事業についてであります。ロシアによるウクライナ侵略の影響で、当面の間、今年度の北方四島交流等事業の実施が見送られている中、今般、ロシア政府が四島交流などの合意の効力停止を一方的に発表したことは、極めて不当で断じて受け入れられません。</p> <p>交流等事業は、元島民の皆様が四島(しま)を訪れることのできる唯一の機会であり、私としては、「ふるさともう一度渡りたい」という元島民の皆様の切なる願いがこのような形で叶えられていないことは誠に遺憾であります。</p> <p>このため、ロシア語をはじめ5つの言語により、私の談話をホームページで発信し、ロシア政府の発表の不当さを訴えていくなど、国際世論の喚起に努めるほか、ICT等を活用して、私の思いや領土返還が国民の総意であることを広く示し続けていく考えであります。</p> <p>こうした取組とあわせて、領土返還に向けた環境整備に大きな役割を持つ北方墓参を含む交流等事業が一日も早く再開できるよう、引き続き、関係団体と連携し、国に強く求めてまいります。</p> |